

平和

筑紫小学校三年 橋本 翔悠

ぼくは今、元気に生きています。でも、それは、当たり前ではありません。どうしてかというと、ぼくが生きている日本が、今、戦争をしていないだけだからです。

テレビでは、戦争をしている国のニュースが流れています。ぼくがそこにいたら、せんとうきでうたれたり、ばくだんで命がうばわれていたりするかもしれません。平和学習で学んだ広島や長崎のようなことが起こると、放しや線をあびて、くるしみがなくなってしまうかもしれません。だから、自分が生きていくことは、当たり前ではないと思うし、大切な命を生きているのだと思います。

ぼくは、学校で平和学習をしている時、思ったことを発表しようとする、心が「ぐっ」となって、ポロポロとなみだがこぼれてしまいます。戦争のおそろしさやかなしさをえがいた映画を見たり、戦争でつらいめにあった人々の話を聞いたりすると、自分の心がかなしさやくやしさにいっぱいになるからです。

ぼくの命は、親からもらった大切なプレゼントです。世界中のだれもが同じです。だから、だれ一人の命もそまつにはいけないと思います。生まれた国がちがうだけで、体の色がちがったり、話す言葉がちがったりするだけで、みんな同じ人間です。生きていいけんりは、生まれた時からみんな同じようにもっていきます。だから、戦争はさい大の差別だと思っています。ぼくは、一人でも多くの仲間をふやして、この世の中から、戦争というものにくるしめられている人を助けます。戦争に反対しつづけていけないと思います。そして、戦争をなくしていききたいです。